

4-7 一般公開

岡崎三研究所は毎年回り持ちで研究所の一般公開を行っている。平成 21 年度は分子科学研究所一般公開を 10 月 17 日（土）に開催した。5 月 26 日に第一回実行委員会を開催し岡崎市や市内中高等学校の行事を勘案しながら開催日を決定した。また、教員、技術職員、事務職員からなる、公開展示班（8 名）、講演会班（4 名）、広報班（5 名）、記録班（3 名）、設営班（3 名）、総務班（4 名）を組織した。その他、実験棟が耐震工事を行っていることから、例年と異なり実験棟に代わって岡崎コンファレンスセンターを使用することなどを決定した。8 月 6 日の第二回実行委員会では、会場を明大寺キャンパスの極端紫外光施設、岡崎コンファレンスセンター、山手キャンパス 2 号館に設定し、東岡崎南口から巡回バスを走らせることを決定した。また、展示に関しては、小学生でも楽しめるものと科学に関心の高い大人でも満足できるものの二つのタイプのものを用意することとした。このほか、講演会の講師 2 名の候補者を決定した。10 月 2 日に第三回実行委員会を開催し、展示の概要説明、配布物の点検、会場設営のための工程表の確認、役割分担の確認を行った。

今回は実験棟改修工事と重なり、十分なスペースが取れなかったために、前回は行った中学生のための科学実験の指導（サイエンスレンジャー）は行わなかったが、体験型展示でこれに対応した。今回の新しい試みとして、岡崎コンファレンスセンターの中庭を利用したフードコート（岡崎の物産店）を企画し、3 店の協力を得た。一般公開の標語を「分子の森を探検しよう！」とし、ポスターを約 700 の大学、公的機関、小中学校に配布した。また、折り込みチラシを約 5 万世帯に配布、回覧板を三島学区 3881 世帯に回覧、岡崎市の広報紙（岡崎市政だより）と岡崎三研究所の広報誌（「OKAZAKI」33 号）に記事を掲載するなど広報に努めた。このほか、ラジオ（FM おかざき）でも一般公開の前日（16 日）の朝夕 10 分間放送し、10 月 5 日には 30 分程度の記者発表を行った。事後のアンケート調査によると、情報源は友人・知人との口コミが最も多く、次が折り込みチラシ、岡崎市政だよりと続いていた。今年はインフルエンザの蔓延が懸念されていたが、幸い大きな流行には至らず、予定通り開催することができた。

一般公開日当日は曇天で風も強く肌寒い天気であったが、会場には 9 時 30 分の開始時間前から見学者が訪れたため、急遽開始時間を早めて対応した。展示数としては明大寺キャンパス（極端紫外光施設）が 2 件、岡崎コンファレンスセンターが 25 件、山手キャンパスが 12 件であり、内容としては非体験型展示が 16 件、体験型展示が 23 件と多数の体験型展示が実施された。体験型・非体験型ともに好評で、5 段階評価のアンケート結果では 3.7 から 4.4 の間に分布していた。

14 時 20 分より岡崎コンファレンスセンター中会議室で「どこへ行く？ 日本のサイエンス」という主題の一般公開シンポジウムを実施した。演題は中村宏樹分子研所長の「頑張り日本人の若人——サイエンスを超えて“科学”への挑戦を！」と辻村竜哉共同通信編集委員兼論説委員の「50 年でノーベル賞 30 人の野望はどうなる？」であり、16 時頃盛況のうちに終了した。このシンポジウムに先立って、岡崎市小中学生の理科自由研究に対する「未来の科学者賞」の授賞式が行われた。これは岡崎三研究所の基生研、生理研と共同で行っているアウトリーチ活動の一つである。一般公開に先立って岡崎市総合体育館で行われた研究発表の中から岡崎三研究所の広報関係教員が選考した 10 件の研究成果を一般公開の会場でポスター展示し、中会議室において表彰式を行った。

このほか、当日飛び入りで、坂田東一文部科学省事務次官の視察があった。事務次官は山手キャンパスの 920MHz NMR を見学された後、岡崎コンファレンスセンターでは未来の科学者賞のパネル展示のほか 4 か所を見学し、その後、明大寺キャンパスの極端紫外光施設を見学された。

インフルエンザの流行期に重なり、中高等学校での学級閉鎖の情報が事前に入っていた。中高等学校生徒の課外活動としての見学者が少なかつたせいか、例年 2000 名程度の見学者数に対し、今年は 1346 名であった。



回数	実施月日	備考
第1回	1979.11. 9 (Fri)	創設記念一般公開
第2回	1980.11.15 (Sat)	
第3回	1981.11.14 (Sat)	3 研究所同時公開
第4回	1985. 5.11 (Sat)	10 周年記念一般公開
第5回	1988.11. 5 (Sat)	入場者 1700 人
第6回	1991.10.26 (Sat)	入場者 1974 人
第7回	1994.11.12 (Sat)	入場者 2700 人
第8回	1997.11.15 (Sat)	入場者 2400 人
第9回	2000.10.21 (Sat)	入場者 1183 人
第10回	2003.10.25 (Sat)	入場者 1600 人
第11回	2006.10.21 (Sat)	入場者 2058 人
第12回	2009.10.17 (Sat)	入場者 1346 人